

令和3年9月22日

八雲小学校及び下島小学校6年生児童の保護者の皆様へ

守口市立八雲中学校

校長 寺本 毅

八雲中学校の来年度入部可能な部活動について

秋涼の候 保護者の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、八雲中学校区の教育活動推進のため、多大なるご協力を賜り誠に有り難うございます。

八雲小学校・下島小学校卒業後の就学先となる八雲中学校では、生徒数の減少と学校における働き方改革の流れを踏まえ、部活動数の縮小を進めています。

近年、市や府・国の動向と同じく本校も生徒数・学級数が減少しており、現状では、次年度の1・3年生は2学級規模の生徒数となり、生徒総数は250名程度となる見込みで、両小学校の在籍児童数を考慮すればこうした傾向は数年続くものと予想されます。学級数が減少するなかで、教職員定数も削減され、部活動の運営においては、単独でのチーム編成が困難となったり、顧問が確保できなくなったりする状況が生じています。

一方、少子高齢化や人口減少、グローバル化、加速する技術革新等による予測が困難な時代を生きる子どもたちに、新しい時代に求められる資質・能力を育てていくことが求められており、教員一人ひとりには、授業改善をはじめとする指導技術の向上が必要で、教職員の業務・指導及び研さん等にかかる時間を確保するため、「学校の働き方改革」が進められています。

加えて守口市では、生徒・教員数の減少も視野に入れ、平成29年度より、部活動を理由とする中学校進学時の指定校変更が認められるようになっていきます。

したがって、本校もこうした状況に対応するため、令和2年2月に部活動数の縮小に向けた部（クラブ）の活動停止に向けた指針を定め、同年4月に、この指針にあてはまることとなった、陸上部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部の3つの部の令和3年度からの募集停止及び令和4年度内の活動停止を決定いたしました。

子どもたちが楽しみにしている部活動を縮小することは誠に残念であるとは全教職員が認識しており、学校としても苦渋の決断です。ただ、学校が最も力を入れて取り組むべき課題は、これからの予測不可能な社会を生きる力をはぐくむことだと認識しており、新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業の改善をより積極的に進めることで、子どもたちの学校生活を充実していきたいと考えております。

したがって、次年度に入部可能な部活動は、以下の9部となります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

運動部： 野球部、女子ソフトボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、サッカー部、女子バドミントン部

文化部： 吹奏楽部、茶道部、美術部

部活動数の縮小にかかる部（クラブ）の活動停止に向けた指針

令和2年4月1日より運用

守口市立八雲中学校では、部員数の減少により活動レベルに課題がある部、教員数の減少及び教員の異動等により顧問の確保に課題がある部については、下記の手続きを踏まえ、活動を停止します。また、活動停止を進めるうえで、部の数の適切な上限については、短時間・非常勤勤務を除く教員が複数で顧問に就ける数を目安とします。

- ① 顧問を務める教員が異動する場合、本校勤務の最終年度内に活動停止できるよう、前年度より部員の募集を停止します。
- ② 単年度勤務が原則である講師が顧問を務めざるを得ない部は、新入部員の募集停止を検討します。
- ③ 活動停止の手続きに入った部については、生徒の混乱を避ける意味でも、停止の方針変更はしないものとします。
- ④ 新入部員が複数年度見られない部については、部員の卒業を待って活動を停止します。
- ⑤ 新たに部の創設を検討する場合は、部の総数が、短時間・非常勤勤務を除く教員が複数で顧問に就ける数を超えない場合のみに限定します。